

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 友廣 信逸

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 最終学歴    | 関西学院大学大学院文学研究科教育学専攻 修士課程修了 |
| 取得学位    | 文学修士                       |
| 所属学会    | 日本心理臨床学会 日本司法福祉学会          |
| 現在の専門分野 | 犯罪心理学, 青年心理学, 学校臨床心理学      |
| 研究課題    | 少年非行に及ぼす, 家族関係・養育環境の要因     |

【教育上の特記事項】

- ・ 学生指導委員会委員・学生相談員。
- ・ とりわけ学生相談については, 心の悩みを抱えた学生諸君に, カウンセリングを実施した。

【社会的活動】

- 1 滋賀県健康福祉部医務業務課からの依頼を受けて, 主として少年補導員の方々を対象に薬物乱用防止に関する講演、京都府土地家屋調査士会からの依頼によるADRに関する講演等を行った。
- 2 奈良県教育委員会からの委嘱により県のスクールサポーターに対するスーパーバイズ, 問題を抱える学校に派遣されてケース検討会での教師に対する助言指導を実施した。

【学内活動】(学内職歴を含む)

- ・ 学生指導委員 ・ 学生相談員 ・ セクハラ対策相談員 ・ 大学附属臨床心理クリニック相談員 ・ 予算委員

| 著書、学術論文等の名称                             | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月  | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要                                       |
|---|---------|------------|---------------------|--|
| (著書)<br>家族心理臨床の実際-保育カウンセリングを中心に-        | 共著      | 2008年6月25日 | ゆまに書房               | 保育カウンセリングを中心に                            |
| (学術論文)<br>「山口県光市母子殺害事件」がもたらしたものの心理社会的考察 | 単著      | 平成21年3月    | 奈良大学紀要              | 標記事件が社会に及ぼした影響を取り上げ、さらに被告人について若干の考察を試みた。 |
| 地域コミュニティと臨床心理                           | 単著      | 平成21年3月    | 奈良大学臨床心理クリニック紀要     | 大学附属のクリニックの地域における役割について考察を試みた。           |